

# 水害から身を守るために

「平成 27 年 9 月関東・東北豪雨（常総水害）」から今年で 10 年。市内でも、小絹地区をはじめとした一部地域が浸水するなど甚大な被害が出ました。これからは、梅雨や台風などの影響で風水害が起こりやすい季節になります。自分の命を守るのは、自分自身の行動です。水害の危険を理解し、水害への備えを今一度確認しましょう。☎ 伊奈庁舎防災課（内線 2502）

## 防災課職員と考える

### 水害への備え

防災士の資格を持つ、防災課の菅野さん。菅野さんと一緒に、水害への備えについて考えてみましょう。



「防災士」ってどんな人？  
防災に対する十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを、日本防災士機構が認証した人です。資格取得に年齢制限は無く、全国でおよそ 32 万人が取得しています（4 月末時点）。

### 1 避難場所や避難ルートを確認してみよう！

#### マイ・タイムラインを 作りましょう！

災害が起こる前に、自分や家族の避難行動をまとめたマイ・タイムラインを作っておくと、いざというときの避難に役立ちます。



#### ハザードマップを 確認しましょう！

洪水や土砂災害のリスクがある場所、避難所・避難場所、防災情報の取得方法などが記載されています。



### 2 災害情報を取得してみよう！

#### 市 LINE 公式アカウント

災害に関するさまざまな情報や生活に役立つ情報を発信しています。



#### 防災アプリ「つくばみらい市防災」

防災行政無線の放送内容や避難所開設状況・ハザードマップなどが確認できる無料のアプリです。持ち歩く防災対策として、ぜひご利用ください。



iOS



Android

#### 川の防災情報（国土交通省）

避難の判断材料になる雨や川の状況などを、河川の監視カメラ映像や水位情報などでリアルタイムで確認できます。



#### キキクル（気象庁）

大雨による災害の危険度を地図上に 5 段階で表示。どこで危険度が高まっているか確認できます。



どんな方法があるんだろう？



## つくばみらい市で起きた水害

### 平成 27 年 9 月関東・東北豪雨（常総水害）

鬼怒川水海道地点では、9 月 10 日 午前 11 時～午後 4 時の 5 時間にわたり計画高水位を超過し、観測記録史上第 1 位の水位を記録しました。市内でも住宅の半壊や床下浸水の発生など、大きな被害が出ました。



小絹地区



小絹地区

※ 9 月 28 日、常総市地域交流センター（豊田城）で「常総水害 10 年イベント」が開催されます。詳細は決まり次第お伝えします。

### 令和 5 年台風第 2 号

降り始めからの雨量は関東地方で 400 ミリを超過し、平年 6 月の月降水量の 2 倍を超過した地点がありました。市内でも、床下浸水の発生や崖崩れによる道路の通行止めなどの被害が出ました。



谷井田地区



小絹地区

### 3 非常時に必要なものを準備しよう！

#### 非常用持ち出し品

すぐに避難できるように、最低限必要なものを準備しておきましょう。

- 飲料水
- 非常食（食べやすく、保存期間が長く、調理せずに食べられるもの）
- 貴重品（現金、通帳、印鑑、保険証の写しなど）
- 救急用品・医薬品（高齢者や持病のある方は、常備薬やお薬手帳も）

- 厚手の手袋（軍手）
- ヘルメット・防災頭巾
- 衣類（上着・下着）
- 携帯用カイロ
- 雨具・防寒具
- 懐中電灯・LED ランタン
- ビニール袋
- 携帯ラジオ
- モバイルバッテリー
- 衛生用品（消毒液・マスク）

- ティッシュペーパー
- ウェットティッシュ
- タオル・ハンカチ
- 洗顔用具
- 歯磨きセット
- 生理用品

そのほか、離乳食や入れ歯など、家族構成に応じて必要なものを準備しましょう！



#### 非常用備蓄品

避難所の備蓄品には限りがあります。自分や家族の生活必需品を最低 3 日分、できれば 1 週間分準備しておく安心です。

- 飲料水：大人 1 人あたり 3 リットル/日
- 食料品：インスタント・レトルト食品、缶詰など
- トイレ用品：簡易トイレ、トイレットペーパーなど
- 燃料：カセットコンロ、カセットボンベ、固形燃料
- 簡易食器：割りばし、紙皿、食品用ラップ
- 寝具：毛布、寝袋
- 照明：懐中電灯・LED ランタン

### 4 事前の備えで被害を抑えよう！

#### 側溝を定期的に掃除して 浸水のリスクを減らす

側溝に溜まっている泥やごみなどを掃除すると、水の流れを確保できます。



#### 風で飛ばされやすいものから 窓ガラスなどの破損を防ぐ

台風が来る前に、物干し竿や鉢植えなどは室内に取り込みましょう。



#### ゴミ袋と段ボールを利用して 浸水を防ぐ

ゴミ袋を 2 重にして中に半分程度水を入れ、袋の口をしぼると「簡易水のう」ができます。水のうを段ボールに入れると、防水壁として使えます。

